

# 令和4年度 第2回愛媛県渋滞対策協議会 議事概要

1. 日 時：令和5年3月3日（金）14：30～16：10

2. 場 所：松山河川国道事務所 2F第1・第2会議室

（WEB併用：新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため）

## 3. 議 題

- （1）これまでの経緯
- （2）主要渋滞箇所の見直し（案）
- （3）道路利用者会議からの要望に対する対応状況
- （4）TDM実施結果の報告と今後の展望
- （5）北吉田町交差点の社会実験の実施結果
- （6）来年度の観光期の経路誘導方策
- （7）今後の渋滞対策
- （8）災害時の交通マネジメントについて

## 4. 議事要旨

- 樋之口・材入天宗西条東SS前の2交差点は、信号サイクルを見直して、その効果を検証した上で解除する必要があるという意見があったため、今回の解除は見送り、追加対策を実施して次年度以降の解除を目指すこととなった。  
高尾田交差点では、西進方向のシフトによる事故が懸念されるため、導流線を引くなどについて検討してはどうかという意見があった。
- TDM実施結果（時差出勤）の報告と今後の展望について、今後のTDM施策ではテレワークの推進も含めて検討して欲しいという意見があった。
- 北吉田町交差点の社会実験の実施結果について、根本的な解決としては松山外環状道路先線の整備が必要だという意見があった。
- 来年度の観光期の経路誘導について、事故リスク軽減の観点から少しでも速く高速に誘導するために一刻も早いインター東線の開通を望む意見があった。
- 今後の渋滞対策について、国道196号の大川橋交差点は自転車の安全確保の検討が必要だという意見があった。
- 災害発生時の交通マネジメントについて、災害時の迅速な対応には関係機関の横のつながりをスムーズにしておく必要があるため、勉強会を含め定期的な開催を望む意見があった。